

本市の道路施設の老朽化（現状）

道路照明灯の倒壊

昨年8月の台風11号により、桃山台の道路照明灯が倒壊した。設置から40年以上が経過しており、他の照明も同様の年数が経過し、安全点検及び更新が必要となっている。



歩道橋の損傷

市内71橋のうち、建設後40年を経過する歩道橋は半数の37橋に達し、劣化による損傷が進んでいる。



上記以外に、道路案内標識など道路施設の多数が建設から相当の期間が経過している。

道路施設の健全性を保つための確実な点検実施

基本的な考え方

① 第三者被害、社会的影響の大きい被害の防止

平成24年の笹子トンネル事故などの教訓を踏まえ、点検（日常・緊急・定期）を行う体制を構築し、安全性を確保する。

② 施設の長寿命化、維持管理費の平準化

施設の長寿命化や維持・更新コストを抑え平準化するために、予防的保全の観点で点検を行う。